

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 4年次生 上村 美祐

1. はじめに

この度、国際交流基金の助成を受け、英語力の向上を目指し、8月1日～9月5日までの間ヨーロッパへ渡航し、知人宅へホームステイした後後半はイギリスに短期留学をしました。ここでは主にイギリスでの生活について報告させていただきます。

2. 語学学校

私が今回通ったのは **Delfin English School** という、ロンドン中心地 **Holborn** 駅から徒歩2分ほどの語学学校です。ロンドン中心地は日本人が多いと聞いていたので事前に各語学学校に問い合わせたところ、この学校は年間を通して日本人比率が2%とかなり低かったためこの学校を選びました。実際私の滞在中にも日本人留学生はおらず、アジア人も少なかったため、日本語を話す機会はありませんでした。

この学校では入学初日に **Speaking** と **Writing** のレベル分けテストが行われた後 **elementary** から **advanced** まで計7つあるレベルにそれぞれ配属されます。

3時間の **Total class(Reading, Writing, Speaking)**のあと、1時間の **Conversation class**を受講しましたが、どちらのクラスも積極的な生徒が多く周りのレベルが高かったため、自分の思ったことや感じたことをとにかく言葉にするようにしました。文法の間違いがあれば全員で訂正し合い、少人数クラスだったこともありお互い高め合うことができたと思います。



Total class では毎回文法のテーマを伝えられ、その文法について理解を深めます。たとえば“現在完了”がテーマの日であれば、テキストの問題をみんなで解いた後、なるべく現在完了形を使って会話をしたり、ペアに分かれて割り振られた話題のニュースについて

話し合ったりした後、文法に注意しながら各グループそれぞれのニュースについて実態と改善策などをプレゼンしました。**Conversation class** では、与えられたテーマについて1時間討論しました。遠慮なく意見をぶつけ合うことができる、より実践的でスピーキングに特化した授業でした。動物の権利や文化の違いについてなど、ジャンルは多様で、スペイン・フランス・ヨルダン・メキシコ・ドイツ・トルコ・韓国などの文化についても話し合ったため、スピーキングができるだけでなく様々な違いを知ることができる授業だったと思います。特に印象に残っているのは **Vegetarian**、**Vegan** についての授業で、日本では馴染みがありませんがクラス内にも多く **Vegetarian** や **Vegan** がいたため、違いについて深く話し合うことができました。

またこの学校ではアクティビティも毎日行われ、先生の引率のもと、希望者でロンドンの観光を行ったり、ピーターパンの像のある公園でピーターパンの朗読会をしたりして、英語力を向上させることができました。また、クラスで出会った友達に加え、ここでも多くの国のたくさんの友達と出会うことが出来ました。



3. ホームステイ

前半ホームステイしたのは知人宅だったこともあり、ロンドンでホストマザーに会う前は不安でしたが、ホストマザーはとても優しい方でした。私以外にもパナマ人の留学生が2人滞在しており、短期滞在だったのにも関わらず、ホストマザーを含め本当の家族のように迎え入れてくれました。みんなでテレビや映画を見たり、ホストマザーのサラの料理と一緒に手伝ったりと、一緒に過ごした時間は大切な思い出です。私は間違えてでも英語で発言をしたいと思っているのでその分間違いも多く、日頃からたくさん訂正もしていただきました。英語を話すときどうしても伝えたいという気持ちが勝り、前のめりに話してしまいがちですが、語彙力が足りないことを痛感しました。ネイティブの言い回しもたくさん知ることができ、ホームステイ中も日々勉強でした。このホスト

ファミリーで良かったと思っています。

4. おわりに

薬学部に入ったら英語を学ぶ機会は少ないと思っていましたし留学が出来るとは思っていなかったため、今回この制度を利用させていただき、海外留学という目標をひとつ達成することができたことを心から感謝しています。日本は英語の勉強がしやすい国ではありますが、ネイティブが少ない国でもあります。実際に行って経験できたことは私にとって貴重な経験でした。これからも経験させていただいたことを糧に、英語の勉強を続けていきたいと思っています。

